



令和6年(2024年)3月14日 公表
 令和5年版 山口県日本海側重要魚種の資源評価

マアジ (対馬暖流系群)

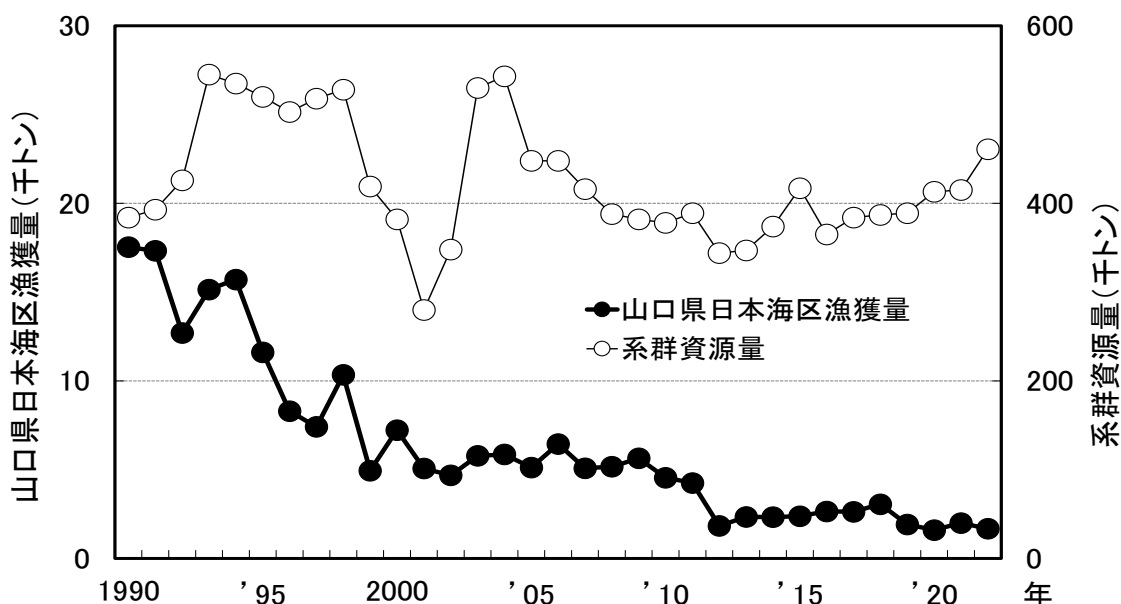


図 山口県日本海区マアジ漁獲量 (漁業・養殖業生産統計年報) 及び対馬暖流系群マアジ資源量 ((国研) 水産研究・教育機構 資源評価報告書) の推移

【漁業】 マアジは主にまき網で漁獲される。主漁期は5～7月で主にゼンゴ(1歳魚)が漁獲される。

【漁獲量】 山口県日本海区の漁獲量は、1990年には17,538トンであったが、その後大きく減少し、2012年以降は3,200トン以下と低位で推移している。2022年の漁獲量は1,677トンであった。

【資源状態】 資源量は1993～1998年には50万～54万トンを維持していたが、その後は減少に転じ、2001年には28万トンまで減少した。2002年以降は増加し、2004年には54万トンとなったが、2005年以降は40万トン前後で推移し、2022年には46万トンであった。

2022年の親魚量は最大持続生産量(MSY)を実現する親魚量(SBmsy:目標管理基準値)を上回った。また、2022年の漁獲圧はMSYを実現する漁獲圧(Fmsy)を下回った。親魚量の動向は増加と判断された。

2022年漁獲量(万トン)	MSY(万トン)	2022年親魚量(万トン)	目標管理基準値(万トン)	限界管理基準値(万トン)	禁漁水準(万トン)
12.1	15.8	28.8	25.4	10.7	1.6